



落穂会だより

夏季号 2011.7

社会福祉法人 落穂会 知的障害児施設 知的障害者授産施設 知的障害者通所授産施設
 あさひが丘学園 (Tel 238-4821) あさひが丘 旭福祉センター (Tel 244-3551) 第二旭福祉センター (Tel 244-3551)
 鹿児島市皆与志町2503番地 (http://www.asahigaokagakuen.jp/) http://www2.synapse.ne.jp/asahi-center/



広島城にて

HIROSHIMA



厳島神社にて



広島原爆ドーム前にて

「共に学び育つ」
 旭福祉センター 保護者会副会長 榎木 精一

三月十一日、東北地方が強い地震に見舞われ、報道により明らかになるに従い、ただ自然の脅威にひれ伏すのみで追いつきをかけるように、原子力発電の事故が発生し、絶対安全神話がくずれ、止まることを知らぬように、被害は次々と広がっています。被災地の方々の人知で計り知れない連続する苦難が早急に終息することを祈るばかりです。

この東日本大震災に遭遇された人々の姿を見て、感心させられることが多いです。お互い助け合い、生活物資のない中でも、秩序正しく我をおさえ、耐え忍んでいる様子が東北の人々の我慢強さを目の当たりにすることでした。津波が頻りに襲う三陸海岸の風土の中で生活するうちに、身に付いた順応性なのでしょう。度々起こる天変地異に負けることなく、立ち上がる力強さ、たくましさには感動しました。

江戸時代末期から明治維新をなした薩摩の下級武士たちは、郷中教育の中で育ちました。郷中とは、数十戸を単位とした一定の区域で、鹿児島城下に、およそ三十近くの郷中がありました。子供達は、先輩の家で本の読み方や字の書き方を習いました。広場や河原に集まって、すもうや取っ組み合いをして体を鍛え、武士の子としての守るべき掟を教えられました。

このように、一日のほとんどを同じ年頃の人たちと一緒に暮らし、お互いに競争し、励ましあい、助け合う中で心や体が鍛えられたのです。

人は人中で育つと言われます。人に接することによって、社会性、人間性が養われ生きる力が育てられるのです。親が注意するより、友達から教えられたことはよく守るようです。まさに周りの人に育てられていると感じます。

子供にとって楽しい職場が最良であり、親としても休まず出勤する姿を満足して見送っています。

最後に地震により被害を受けた多くの犠牲者の方々のご冥福をお祈りいたします。

新入所者紹介

◆あさひが丘学園
 本村 明日香さん
 生活習慣を身につけた
 いです。一生懸命頑張っ
 ていきたいです。
 前田 崇志さん
 明るく、楽しく、元気
 にがんばります。よろし
 くお願いします。

新通所者紹介

◆あさひが丘 生活介護事業
 木佐貫 莉乃さん
 今までは遊びに来てい
 ましたが、これからはお
 仕事をがんばります。
 篠崎 まどかさん
 しのさきまどかです。
 ポケモンとネコが大好き
 ーこれからよろしくね。
 瀬戸口 航さん
 皆さんと仲良くして、
 毎日、目標を見つけ楽し
 く通所したいです。



二万アクセス突破 ～あさひが丘学園ホームページ～

昨年十月一日より、あさひが丘学園のホームページが新しく生まれ変わりました。生まれ変わりの早さで八カ月が過ぎようとしています。今回のリニューアルされたホームページの特徴は、「職員が自らの手で更新していく」という点です。これまでは、広報誌「落穂会だより」

で年四回、保護者をはじめ地域の方々に学園行事などの情報を発信していましたが、より旬な情報をタイムリーに発信する方法としてホームページを活用し、あさひが丘学園の利用方法や情報、行事報告などの定期的な情報更新に努めています。周囲の方々からの評判も良くアクセスの多い日には一日に三百件のアクセスがあり開設時から八カ月間で約二万件のアクセスがありました。

また、定期的に更新している職員のスタッフブログ「笑顔日和」も人気です。笑顔日和のブログは、あさひが丘学園のホームページからはもちろんP o t t i n g (ポテイカ)からも見ることが出来ます。現在までの合計は三万三千アクセスを突破しました。(五月三十一日現在)

これからもたくさんの方々に楽しんでいただけるような内容、情報の充実と施設と社会とを渡す架け橋になればと思います。

ぜひご覧いただき、ご意見、ご感想もEメールなどでお寄せいただければ幸いです。

<http://www.asahigaokagakuen.jp/>

編集後記

最近、テレビや新聞でエコというフレーズをよく耳にします。また、お店では節電ができるエコグッズなどもいろいろと目に付くようになってきました。私たちが一人一人が節水・節電を心がけ行動することで、大きなエコにつながります。

みなさんもこの夏、星空を見ながらうちわ回扇で涼んでみてはいかがでしょうか。

ベーカリー オススメ商品

今回のオススメ商品はベーコンエビです。エビとはフランス語で「麦の穂に似ています。また、十八時間生地を寝かせているため、生地に甘みがあり、ベーコンと相性が抜群です。朝食やお昼ご飯にピッタリのベーコンエビをぜひご賞味ください。

ベーコンエビ 180円
 ミニベーコンエビ 120円

※七月より、カフェNODOKAの営業時間が変わります。
 平日 十一時～一五時(ランチタイム)
 土・日祝 十時～一四時半(ランチタイム)
 一四時半～一八時半(カフェタイム)

障害者制度改革の動向④

あさひが丘学園 園長 水流純 大

前々号に引き続き、改正法の概要について述べる。主な改正点の三番目、「相談支援の充実」についてであるが、①基幹相談支援センターの設置、②自立支援協議会の法定化、③地域移行・地域定着支援の個別給付化、④支給決定プロセスの見直しの四つが主な改正の内容である。

①基幹相談支援センターは、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障害者の相談支援に関する業務を総合的に行うことを目的とし、市町村自らまたは一般相談支援事業者等への委託により実施されることとなっている。しかしながら、他の相談支援事業者との役割分担や関係整理が今一つ不明確であり、また、財源も担保されていないことから実際に機能するかどうか疑問の残るところである。

②自立支援協議会の法定化については、未設置市町村に設置を義務付けるという点では意味があると思われるが、実際に機能するかどうかは別問題である。既に自立支援協議会が設置されている市町村においても、

会議が形骸化し、「障害者の地域生活を支援していくために、関係機関や関係団体が地域の課題を共有し、地域の支援体制について協議し、問題解決を図る」という本来の目的からは程遠い市町村も多い。自立支援協議会が実質的に機能するような手立てを同時に講じることが重要である。

③地域移行支援・地域定着支援の個別給付化は、現行の「精神障害者地域移行支援特別対策事業」や「居住サポート事業」等の補助事業を個別給付化したものである。施設や病院に長期入所・入院している障害者の地域生活への移行については、退所・退院に向けたきめ細やかな支援が必要である。その意味で、「地域相談支援」として個別給付化が図られたことは大きな意義がある。

④支給決定プロセスの見直しであるが、実はこの点が今回の「相談支援の強化」におけるもっとも大きな改正点であるといえる。

現行制度では、サービス利用計画の作成が市町村の支給決定後となっていることや、対象者が重度障害者

等に限定されているなどの理由からほとんど利用されていない状況であった。このため改正法では、市町村の支給決定前にサービス利用計画案を作成し、支給決定の参考とするよう見直すとともに、計画作成対象者を大幅に拡大することとしている。この制度が施行されれば、障害者福祉の世界によりやく本格的なケアマネジメントシステムが導入されることになる。障害者自立支援法の基本理念は「障害のある人が普通に暮らせる地域づくり」である。障害のある人が地域で生活していくためには、本人のニーズを的確に把握し（アセスメント）、そのニーズを満たす必要なサービスを調整・計画し（プランニング）、適切なサービスが行われているかを点検・評価する（モニタリング）、ケアマネジメントの仕組みが必要である。

今回の改正でようやくその仕組みが導入されることになるが、その仕組みが有効に機能するかについてはいくつかの課題もある。一つは、「対象者を大幅に拡大」とあるが、その

「拡大の幅」が明確に示されていないこと、また、「市町村が認めた場合に支給決定の参考にする」とされていることから、市町村によって対象者の範囲に格差が生じるのではないかという懸念がある。市町村格差が生じる事態となれば、全国共通の制度としての整合性を欠くことになるであろう。

二つめは、サービス利用計画を作成する「指定特定相談支援事業者」の指定基準や相談支援員の資格要件等がまだ示されていないことである。あわせて、サービス利用計画作成のためのアセスメントツールは標準化されるのか、継続サービス利用支援（モニタリング）の「一定期間」とはどの程度の期間になるのか、また、計画相談支援給付費は専任相談員の人件費を賄える水準となるのかなど、いまだ見えていない部分が多い。

国は、今年六月に地域相談支援、計画相談支援の対象者や指定基準等に係る基本的枠組みを提示し、十月に指定基準省令、相談支援従事者に係る告示案を提示するとしている。ようやく導入されるケアマネジメントシステムが有効に機能するような施策となるよう期待したいと思う。

旭福祉センター

・落穂会ゆうかりふれあいバザー

四月二十三日（土）に、第三十九回落穂会・ゆうかりふれあいバザーが開催されました。天候にも恵まれ会場には千人以上の来客がありました。

あさひが丘からは、花苗や陶芸品、小物類などを出店販売しました。小物類などはお客様からも好評でした。

旭福祉センターでは、花苗や野菜・陶芸を出店販売しました。また、カフェNOODOKAでは黒カレーとパスタを、ベーカリー楓ではあんぱんまんパンやベーグルなどをバザー限定メニューとして販売しました。バザー限定ということもあり、たくさんのお客様に喜んでもらうことができました。そんなお客様の様子を見て、利用者は喜び、得意げな顔をして普段とは違う表情をみせていました。

・施設親善球技大会

旭福祉センターは、男子がソフトボール、女子がソフトバレーボールにそれぞれ参加しました。男女共に二試合行って、完敗という結果でした。来年は一勝を目標に、より一層練習に励みたいと思います。

あさひが丘からは、ソフトボール（二部）とグラウンドゴルフ（ヘビークラス）に参加しました。一勝とは

いきませんでした。みなで楽しく参加することができました。来年は、楽しさに結果もついてくればと思います。

・「鹿児島県障害者スポーツ大会」

五月十五日（日）に、スポーツ大会が行なわれました。

あさひが丘からはフライングディスク四名、レクレーション（玉入れ）五名、陸上一名、ボウリング三名の計十三名が競技に参加しました。見事四名の方がメダルを獲得しました。

旭福祉センターからは、フライングディスクに三名の方が出場しました。それぞれの頑張りが見られ、全員が見事一位を取ることができ、三名とも、嬉しそうにメダルを見せ喜びを表していました。

レクレーションでは、他の施設の方々と一緒にチームを組み、的倒しに出場しました。

競技への出場だけでなく、他の施設の方との交流があり楽しむことができました。大会でした。

・「グループホーム広島旅行」

四月と六月にグループホーム利用者を三つのグループに分け、広島に一泊二日の旅行に行きました。三月に開通したばかりの新幹線「さくら」に乗っていざ広島へ。

本場広島のお好み焼きを目の前で焼いてもらい、アツアツのお好み焼きに、熱さと戦いながらも美味しく

うに食べていました。

広島城や、原爆ドームなど広島の名所を見学し、夜は旅館で美味しい料理を食べました。厳島神社では、水に浮かんでいるように見える社殿に目を丸くし、興味津々でした。

あいにく天気に恵まれない日もありましたが、帰ってきた時の表情は、旅行がどれだけ楽しかったかを物語っていました。

あさひが丘学園

・保護者ボランティア

四月二十四日（日）、あさひが丘学園保護者会の皆様によるボランティア活動が実施され、二十四家族二十八名の保護者の方々が参加されました。

お父様方には、駐車場のしきり作りと側溝掃除をしていただきました。お母様方には運動会で使用するお手玉作りをしていただきました。作業終了後は、会議室にて懇談会がありました。お忙しい中での参加、協力ありがとうございました。

・サッカー交流

五月十六日（月）、鹿児島を代表するサッカーチーム「ヴォルカ鹿児島」の永田星馬選手と日高潤也選手が来園し、あさひが丘学園のフットサルチーム「FC Amity」のメンバーにフットサルの指導を行っていた

きました。

・バーベキュー大会・誕生会

五月二十一日（土）、誕生会をかねたバーベキュー大会を昼食時間に合わせ行いました。参加人数は、一五四名（入所されている方、通所ご利用の方、グループホームの方）が参加しました。

・フットサル大会

六月四日（日）、第二回鹿児島県知事杯知的障害児者フットサル大会が鹿児島ふれあいスポーツランドにて開催されました。あさひが丘学園からは一部リーグ（七名）、二部リーグ（七名）に各一チームずつの計二チーム（十四名）が出場しました。今回は、残念ながら予選敗退の結果でした。

・バイキング・誕生会

六月八日（水）、食堂にてバイキング・六月誕生会を行いました。入所、通所など、一三九名の方が参加しました。テーブルには、いろいろな種類の料理が並び楽しいバイキングでした。

・日中活動参観

六月十日（金）天気は、あいにくの雨となりましたが、三十一家族三十二名の方が参加されました。各日中活動に参加されたあと、各活動ごと分かれ保護者との懇談会が行われました。和やかな雰囲気の中で意見交換を行いました。

修学旅行の思い出

あさひが丘学園 利用者
太田 広子

五月十一日から十三日に修学旅行で大阪に行ってきました。はじめての飛行機にドキドキしました。まず、映画村に行って忍者ショーを見ました。動きがはやくてビックリしました。夜ごはんは、ホテルでバイキングでした。大好きなデザートを食べた。二回目は、一日中ユニバーサルスタジオジャパンで過ごしました。いろんなキャラクターと一緒に写真を撮ったり乗り物に乗ったり、面白い物を買ったりと、とても楽しかったです。自分へのおみやげも買いました。三日目は、大阪城を見学に行きました。帰りは、新幹線「さくら」に乗りました。はじめて乗りました。とても速くて、あっという間に鹿児島につきました。



大阪での修学旅行は、とても楽しくて、また行きたいと思いました。

「楽しい息子」

旭福祉センター 保護者
篠山 敏治

早いものです。息子が生まれて二十余年余りが過ぎました。生まれてきた時にはまさか知的障害を持つていようとは夢にも思いませんでした。でも息子は多動性で小さい時はずいぶん手がかり目の離せない子でしたが何の病気もせずスクスクと育ちました。小さい時は、私は建設業を営んでいましたが言葉が発せないため手伝いをしたくても重機の近くをうろついてあぶないのでいつも叱ってばかりいました。しかし、ある時フツと「もしかしてこの子は手伝いをしたいのか」と思い「手伝いをしたいのか」と言うとコクとうなづき、それから簡単な作業はなるべく手伝わせました。それから数年が経ち種子島のほうに帰郷しましたが心優しい子に育ちました。私も今は昔の現場事故で身体障害者になりましたが、4ヘクタールの農作物を一人で作付けしております。そして、息子に「父ちゃんと一緒にやるか」と言うとう首を横にふります。旭福祉センターのほうで楽しいのでしょうか。帰郷した時には食事の量が異常に多

「晴れた日は！」

旭福祉センター 職員
瀬戸口 敦雄

「晴れた日は晴れを愛し、雨の日は雨を愛す。楽しみあるところに楽しみ、楽しみなきところに楽しむ。」歴史作家の吉川英治氏の言葉です。とても簡潔ですが、感銘を受けた言葉です。

私のセンターでの作業担当は、蔬菜班での野菜作りです。野菜を作るにあたり、天候に左右される毎日を送っています。雨の日が続くと「晴れてくれれば、畑を耕すことができののに。」晴天が続くと「雨が降ってくれば、野菜に水やりする手間が省けるのに。」台風が近づいて来たら「(天気図を見ながら)少し遅くてもいいなあ。」願っても叶わぬ様な事を考えてしまいます。明日、明後日の作業予定をたてる時に天気の伺いをたてる事が面倒に感じる時が多々あります。

さんぽみち

しかし、私の作業予定など天気には全く影響しない訳で、晴れる時は晴れる、雨が降る時は降ってくる。おまけに火山灰まで降ってくる。そんな状況の中でも野菜はしっかりと時期を見て大きくなり収穫を迎える事となります。収穫の時は利用者と一緒にホクホクした気持ちで収穫するのですが、その時には、作業行程の苦労はさっぱりと忘れてしまっています。利用者支援も同じようだと感じる時があります。支援計画とおりがうなづいてほしいと思っている時は、なかなか上手いかないなものだと。

私は、気が向いた時に知人と、神社、仏閣など史跡巡りをします。そういつたところに行くこと静寂なこともあり落ち着きますし、脈々とその土地々々の歴史を感じることができるところです。またそこにすむ人達が大事にしてきたもの、この先大事にしたいものを感じることがあります。また願掛けも行われている場所でもあり、日頃天気に伺いをたてている私としては身近なものでもあります。私自身、願掛けの真似事を行った後は、晴れた日は晴れを楽しみ、雨の日は雨を楽しむ。楽しみあるところに楽しみ、楽しみなきところに楽しむようにしています。



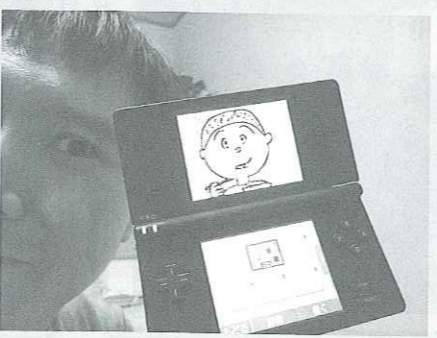
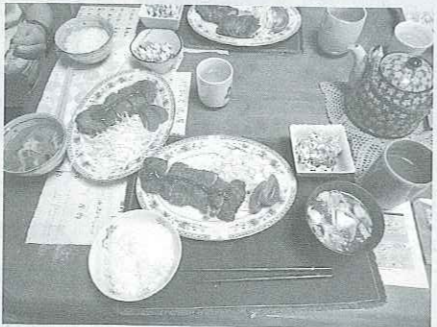
今回は、あさひが丘学園のケア・ホーム『つばさ丸』にスポットをあてます。つばさ丸での生活も早いもので四年がたちました。四人の男性利用者が職員のサポートを受けながら楽しい毎日を過ごしています。あれ!前にもあったのでは...その通りです。じつは、二年前に一度みなさんに話を聞いているのです。

さて、あれから二年経った「つばさ丸」のみなさん今回はどんな話が聞けるでしょうか。
・女関先に、人影が...
・いらっしやい。ごうぞ。スリッパ履く?
(宇都) 待っててくれたんですね。ありがとうございます。



・ありがとうございます。今日は、ケアホームにスポットのインタビューできました。お話を聞かせてもらってもいいですか?
・つばさ丸での生活も四年目になりましたが、生活は楽しいですか?
・五年目ですよ。楽しい。
・楽しい。
・はあ。(笑顔)
・もう、五年目になるんですね。それから、四月から新しいつばさ丸の

仲間がいると聞いたのですが。
・末吉さん。指をさす。
・(末吉) 照れる...
・台所では、美味しそう匂いが...
今日の晩御飯は何ですか?
・トンカツで



(末吉) 今日のメニューは、トンカツと御汁、豆腐の和え物です。
・好きなメニューは、ありますか? 美味しいですか?
・ハンバーグ、からあげ、あとは魚かな? 美味しいよ。
・電話が鳴るよ。(電話をとる岩元さん)
「もしもし、つばさ丸の岩元です。うんうん。末吉さん、小中原さんから電話だったよ。」

・電話も上手にとることが出来ますね。
・電話ね。ころよ。うん。あと、これみて。
・これは、自分で作ったんですか?
・自分で絵を描いて作ったよ。これカッソ。(映像が動い

ている)
・これ、いいよ(AKBのポスターを持ってくる)
・(部屋に呼ばれる) お気に入りの時計をみせてくれる。
・みなさん、お仕事で頑張ったお金で買ったんですね。これからお仕事頑張ってくださいね。
・はあ。また、きていいよ。
※今回、(英行さん)は、インタビューに都合が合わず残念でした。またの機会にお願いします。

今日は、夕飯の時間帯にすみませんでした。スリッパを出してくれたら、お茶を出してくれるなど、みなさんの成長と楽しそうなグループホームでの生活場面が見れて嬉しかったです。これから暑くなるので体に気を付けお仕事を頑張ってくださいね。

→浴衣姿でいい気分!!



グループホーム
広島旅行

旭福祉センター



←本場広島のお好み焼き!
みんなワクワクしています。



←かき氷大盛況!

旭福祉センター

吉野兵六祭り



→昼食にうどんのでホッと一息...



旭福祉センター

施設親善
球技大会



←みんな、頑張るぞ!



グランドゴルフ (ヘビークラス)

あさひが丘学園



野菜も大好評でみごと完売

あさひが丘学園

旭福祉センター

落穂会・ゆうかり
ふれあいバザー



↑お買い上げありがとうございました。



カフェNODOKAの特別メニュー↑

すなっふ スナツプ

→フラインクディスクで、二人のメタリストが誕生しました→



あさひが丘学園



旭福祉センター

←みんなメダル獲得おめでとう!!

県障害者 スポーツ大会



お父様方による側溝清掃

あさひが丘学園

保護者職員
ボランティア活動



お母様方には
運動会用お手玉作り

バイキング



バイキングは大盛況

あさひが丘学園

ヴァルカ鹿児島県の選手と交流



また、来てくださいね

みんな、頑張れ!!



第2回鹿児島県知事杯
知的障害者フットサル大会

あさひが丘学園



お肌もお肉もこんがり焼けました

バーベキュー大会